

ニホンジカの低密度管理に向けて（第2報）

玉井 宏（関東森林管理局赤谷森林ふれあい推進センター）
萩原正明（公益財団法人 日本自然保護協会）

1. 背景と目的

- ・ニホンジカによる摂食被害が日本全国で拡大傾向にある中、まだ低密度下である地域での被害を未然に防ぐための対策を効率よく行う取組も重要であると考えました。これは、被害が顕著になってから行う対策に比べて費用も労力も格段に小さいとの推測のもと、効率的な捕獲を検証すべく試験的に取り組んでいるものです。
- ・低密度下の赤谷の森でニホンジカをどのように捕獲するのか。その方法と技術を検証し、それを、どのような実行体制で進めていくのかを課題として考察していきます。

2. 赤谷の森のニホンジカの現状評価

- ・赤谷の森のニホンジカは2005年頃から生息が確認されるようになりました。（縄文時代には生息：Tsujiino et al(2010)）
- ・生息数を予測できる出現地点数、撮影頻度とも増加しています。（図1 a・b）
- ・一方現時点では植物群落へ与える影響は少ないが、ニホンジカが越冬するなど定着し始めていることから、植生への影響が懸念される地点が出始めています。（図2 a・b）

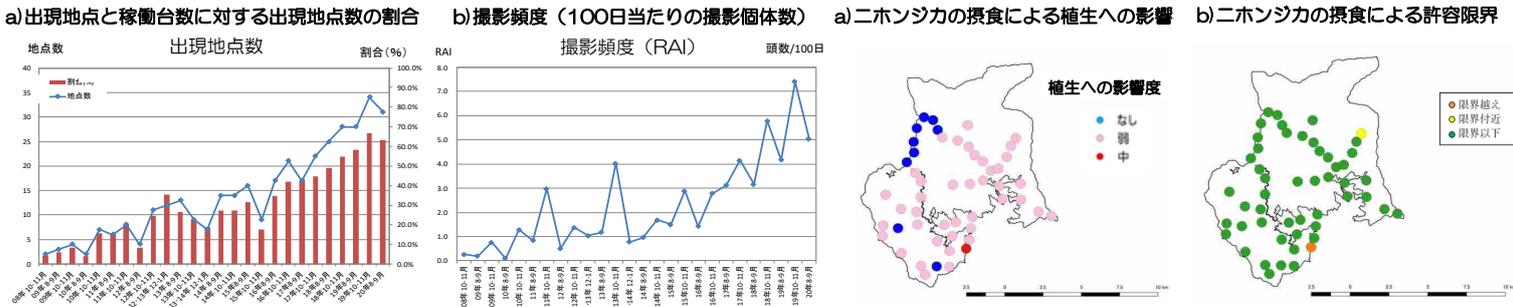


図1. カメラトラップ51地点におけるニホンジカの出現地点数と稼働台数に対する出現割合(a)と撮影頻度(b)

図2. カメラトラップ51地点におけるニホンジカの摂食による植生への影響(a)と許容限界(b)（2020年度簡易モニタリングに基づく）

3. 捕獲技術の確立と捕獲効率

(1) 誘引技術と捕獲方法

赤谷の森では誘引餌材（鈹塩）により捕獲効率を上げるよう取り組んでいます。（数年間にわたり複数の誘引餌材を比較した結果誘引効果が高く見られたため）また、捕獲方法には、シャープシューティング、箱罠、囲い罠、くくり罠を試行しましたが、試験捕獲4年目の現時点までではくくり罠による捕獲で実績を上げています。なお、2019年度からくくり罠の捕獲には見回りの回数を減らすために、画像転送機能付きのセンサーカメラを導入しています。

(2) 捕獲効率（くくり罠）

2018年度は、10晩5機の稼働で、1頭捕獲することができました。
2019年度は、40晩13機の稼働で、3頭捕獲することができました。
2020年度は、17晩15機の稼働で、捕獲は0頭でした。

捕獲効率（TN）はそれぞれ、
2018年度 0.020
2019年度 0.006
2020年度 0

$$\text{捕獲効率 (TN)} = \frac{\text{捕獲頭数}}{\text{稼働台数} \times \text{稼働日数 (夜数)}} \times \text{トラップサイズ}$$

(3) 2020年度に捕獲できなかった要因

- ・罠の設置が適切でなかった。そのため、罠は作動したもののワイヤーが締まらなかった。
- ・罠の資材が適切でなかった。罠と立木を固定するロープが強度不足であったため、掛かったニホンジカに切断されてしまった。
- ・土日祝日を休止日としたため、罠の施錠、解錠に作業者の出入りがあり、ニホンジカが人間の気配に警戒して罠に近づけなかったことも要因として考えられました。



2019年度に捕獲されたニホンジカ

4. 地域での体制づくり

- ・猟友会、行政（町・県・林野庁）、地域住民、NGO、専門家などの関係者で構成される意見交換会を2014年度より赤谷プロジェクトで実施しています。
- ・互いの課題や現状を共有する中で、誘引餌材による捕獲方法が地域で実施されるなど、私たちの取組が浸透しつつあります。

5. 今後に向けて

- ・現在、赤谷の森のニホンジカは低密度で森の生態系は比較的健全とはいえ、一部の地域で植生への影響が出始めていることから、それほど遠くない将来憂慮すべき事態になることが予測できます。このような事態になる前に、適切な個体数調整などの管理を行うことで対策を講じるべきでしょう。
- ・今後本格的な捕獲を行う場合の指標としてこの試験的な捕獲のデータを活用し、森の生態系が健全に保てる範囲を維持していくことが望まれています。
- ・ニホンジカを低密度のまま個体数調整をして森の生態系を健全に保つには、毎年どの程度の捕獲が必要なのか。これまでに取り組んだ試験的な捕獲の結果を踏まえて目標数値を設定し、それを赤谷の森とその周辺地域が一体となって対策に取り組むことが今後の課題となっています。

<参考> 赤谷プロジェクトとは

群馬県利根郡みなかみ町新治地区の国有林「赤谷の森」（約1万ヘクタール）において、「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」を目指し、赤谷プロジェクト地域協議会、林野庁関東森林管理局、公益財団法人日本自然保護協会が協働管理する取り組み（2004年～）

